

ニッペ 1材カチオンフィラー

 ホルムアルデヒド放散等級
 F☆☆☆☆

1材カチオンフィラーは粉体中に、カチオン形アクリルエマルジョンパウダーと特殊骨材を配合した下地調整塗材で、付着強度にすぐれ、かつコンクリートなどの中性化を抑制する機能を持っています。また、吹き付け、こて、ローラー、左官はけのいずれでも施工可能で、作業性、性能とも抜群です。水と混合するだけで使用できる粉体の1材形であるので、容器廃材の削減にも貢献します。

■ 特長

① JIS A 6916に合格しています

JIS A 6916 セメント系下地調整塗材2種(C-2)に合格しています。

② 付着性がすぐれています

カチオン系のため付着性がすぐれており、各種塗膜面、磁器タイル面への適用が可能です。

③ 取り扱いが容易です

1材形の粉体にカチオン性アクリルエマルジョンパウダーを配合しており、水と混合するだけで使用できます。

④ 作業性がすぐれています

こて、ローラー、吹き付け、左官はけのいずれでも施工が可能で、すぐれた作業性を発揮します。

⑤ 廃棄物の低減が可能です

従来の2材形と比較し、混和液の容器廃材が発生せず、廃棄物の低減につながります。

■ 用途

外装各種下地面の下地補修、下地調整

■ 適用下地

コンクリート、モルタル、ALC、磁器タイル、各種既存塗膜

■ 標準塗装仕様

塗装方法	金ゴテ塗り	砂骨ローラー塗り	吹付け (モルタルガン)
使用量 kg/m ² /回	0.75~4.50	0.75~3.00	0.75~3.00
希釈率(重量比)	25~28%	30~33%	30~33%
20kg粉体に対する水の量	5~5.6ℓ	6~6.6ℓ	6~6.6ℓ
膜厚(Wet)mm	0.5~3.0	0.5~2.0	0.5~2.0
塗り重ね乾燥時間	溶剤系、水系の仕上げ材・・・72時間以上		

※1ミリ厚での使用量は、約1.5kg/m²となります。塗装可能面積は約13m²/袋となります。

■ 容量・荷姿

内容	容量	荷姿
主材 (セメント、特殊骨材、骨材、 カチオン形アクリルエマルジョンパウダー)	20kg	紙袋

■施工方法

■下地処理

1. 改修の場合

密着不良の既存塗膜はサンダーなどで入念に除去してください。更に水圧50kg/cm²以上で加圧水洗を行い、ごみ、ほこり、よごれや浮き塗膜などを洗い流してください。ぜい弱な塗膜や付着不良の塗膜への塗装は不適ですので絶対に塗装しないでください。

2. 吸い込みの著しい下地の場合

塗装時のかすれやドライアウトの原因となりますので、水性カチオンシーラー透明または水性透明シーラーを下塗りしてください。

■練り混ぜ

現場で水(金ごて塗り:5ℓ、砂骨ローラー塗りおよびモルタルガン:6ℓ)に対し主材(粉体20kg)を加えて、電動かくはん機等で十分にかくはんしてください。(必要に応じて0~0.6ℓの水で軟度を調整してください。)(希釈率は、標準塗装仕様の項をご覧ください。)

■可使時間(ポットライフ)

練り混ぜ後は、1時間以内(23℃の場合)に使い切ってください。

■施工

- 吹付けの場合はモルタルガンで均一に吹き付けた後、ただちに、はけまたはへらでございてください。
- はけ塗りの場合はなるべく腰の強いはけを用い、刷り込むようにしてください。
- ローラー塗りの場合は多孔質(砂骨)ローラーを使用してください。

■試験成績表

試験項目は、JIS A 6916セメント系下地調整塗材に準拠した社内試験による。

試験項目	規格	性能	
軟度変化%	±20以内	合格	
耐ひび割れ性	ひび割れがないこと	合格	
耐衝撃性	ひび割れおよびはがれがないこと	合格	
付着強さ N/mm ² {kgf/cm ² }	標準養生	1.0{10.2}以上	合格
	低温養生	0.70{7.1}以上	合格
吸水量(g)	1以下	合格	
耐久性 N/mm ² {kgf/cm ² }	割れ、膨れおよびはがれがなく、付着強さが1.0{10.2}以上であること	合格	

■使用上のご注意

- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階ですでに旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
- 本品を塗付後、乾燥する前に雨や水がかかるとセメントが流れてしまいますので十分に注意してください。
- 未乾燥のときに気温が下がって凍結しますと特性が低下したり、上部が薄膜となって浮いてはがれることもありますので、冬季の作業は少なくとも午後3時頃または気温が5℃以下になった場合、作業を終え、シート類をかけるように注意してください。
- 可使時間が過ぎると性質が変わり、本品の特性を発揮できませんので、可使時間(1時間)を過ぎた場合は使用しないでください。
- 異物を混合しないでください。
- 機器および道具類の使用後は、そのまま放置しないですぐ水につけ、その後必ず水洗いしてください。塗料が付着したまま放置して乾燥しますと、こびりついて取れなくなります。
- 盛夏などで下地に水が急激に吸い込まれてしまう時は、ドライアウトが起こったり、仕上がり支障が出る可能性がありますので、合成樹脂エマルジョンシーラーをあらかじめむらなく塗付してください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケツ科学社製Hi 500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■安全衛生上の注意事項

- 本来の用途以外に使用しないでください。
 - 火気、スパーク等の着火源があると粉塵爆発のおそれがありますので、取り扱いには十分注意ください。
 - 取扱い中は粉塵がたたないように注意し、また、取扱い後は密閉した容器に保管してください。
 - 他の容器に移し替えないでください。
 - 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
 - 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
 - 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください
 - 粉塵爆発を引き起こすことがあるので、火気のあるところでは使用しないでください。
 - ただちに医師に連絡してください。
 - 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
 - 口をすすいでください。
 - 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をしてください。
 - 物的被害を防止するためにも流出したものを吸収してください。
 - 容器からこぼれた時には、砂塵が立たないように処理してください。
 - 飲み込んだ場合:口をすすいでください。無理に吐かせないでください。
 - 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
 - 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
 - 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
 - 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後も洗浄を続けてください。
 - 施設して保管してください。
 - 耐腐食性/耐腐食性内張りのある、製造者/供給者または所管官庁が指定する他の互換性のある材料の容器に保管してください。
 - 直射日光や水濡れは厳禁です。
 - 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
 - 特にこの製品は、貯蔵温度を5℃~30℃にしてください。
 - 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される際は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

- 金属腐食のおそれ
- 重篤な皮膚の薬傷及び目の損傷
- 重篤な眼の損傷

日本ペイント株式会社

お客さまセンター

☎ 03-3740-1120

☎ 06-6455-9113

http://www.nipponpaint.co.jp/

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2016 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

カタログNo.

NP-U109

AA161208T
2016年12月作成